

## 外八海

外八湖は、日光の中禅寺湖から 300km 以上離れた京都の北に位置する琵琶湖まで、日本各地に散在しています。内八海と同様、外八海は富士講が開祖として崇めた長谷川角行（1541?-1646）ゆかりの地とされました。実際、角行の人物伝には、外八海のうち、琵琶湖と箱根にある蘆ノ湖の 2 湖を含む日本各地の山や水場における苦行や水行が述されています。

下の地図は外八海を示しています。この地図と右側の 1843 年版の地図を比べると、外八海を構成する八か所の水行場は、大抵遠方に富士山を望む場所にあり、富士山を中心として緩やかな輪を描いていることが分かります。

富士講の中には、ただ富士山登頂と内八海巡りを達成するだけに満足せず、角行の足跡をたどって各地で水行をするため外八海巡りを始めた集団もありました。1860 年の旅の手引書には「外八海」と題された八か所が挙げられており、当時すでに外八海が良く知られていたことが伺えます。別の 1876 年の文書には、13 人で構成された富士講が全八か所の巡礼を達成したことが記されています。これは類似の記録としては最初期のものです。記述には、この富士講の外八海巡りにはおよそ 2 か月がかかったとあります。

